

議会だより



「なかひまわりフェスティバル2024」は中止となってしまいましたが、25万本のひまわりは、夏の間、わたしたちに元気いっぱいの笑顔を届けてくれました。

特集 那珂市議会20年の軌跡

もくじ

特集	2	令和5年度決算	4
議案等審議	6	請願・陳情	8
臨時会	9	一般質問	10
閉会中議会活動	18	議員と語ろう会	20
次回定例会の日程	22		

那珂市議会20年の軌跡

過去から未来へ...

2012年

東日本大震災で発生した
がれき受け入れに関する要請
決議

那珂市活性化対策特別委員
会を設置

特別委員会も傍聴可能とす
る条例改正

那珂市議会改革特別委員
会を設置

本会議映像をインターネッ
トで録画配信開始

2011年

東日本大震災により
那珂市議会災害対策
本部設置



2005年

1月21日
那珂市議会が
38人でスタート
(議員定数は26人)



2008年

市となって初の一般選挙
⇒24人へ

2009年

議員定数22人へ

那珂市市制誕生20年。
数々の変革がありました。
今後もこのあゆみをとめる
ことなく、議会改革に邁進
していきます。



2024年3月



2021年～

小中学生向けの冊子
「ぎかいのおはなし」発行

チャットアプリを活用した
連絡体制に変更

YouTubeでの
本会議ライブ配信

タブレット端末導入
ペーパーレス化へ

テレビ会議システムを利用
した委員会の開催

2016年

議会だよりリニューアル

那珂市災害対応調査特別委
員会を設置

2015年

議員定数18人へ
議員報酬、政務活動費
の条例改正

2014年

第1回議会報告会を開催



原子力安全対策特別委員
会を常任委員会へ

2018年

議会報告会を「議員と
語ろう会」に変更



2013年

那珂市議会会議規則
の全面改正

全員協議会の公開

常任委員会などの会
議を市役所内でモニ
ター放送

那珂市議会基本条例
を制定

2020年

新型コロナウイルス感染症
により那珂市議会災害対策
会議を設置し、緊急要望書
を提出

ICT導入検討会設置



令和5年度のお金の使われ方を確認しました

一般会計歳出決算

228億3101万円

特別会計歳出決算総額

109億3890万円

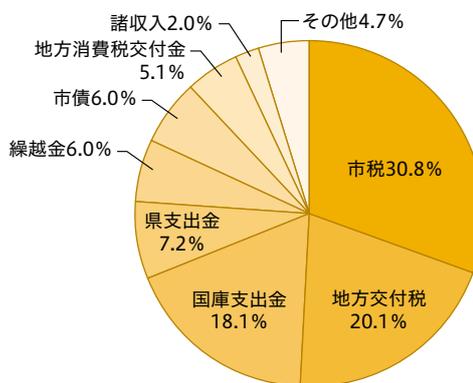
※上記金額は、万円未満を四捨五入したものです。

市長から令和5年度の決算が提出されました。決算の審議は、9月10日から12日の3日間にわたり、各常任委員会でを行いました。その結果、令和5年度の決算を全て認定しました。

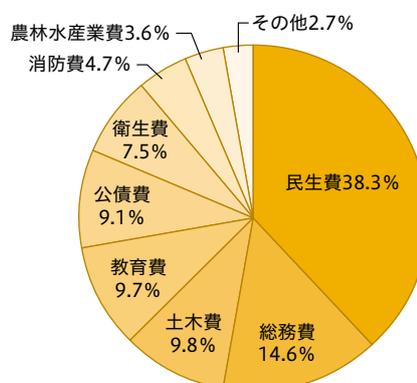
ここでは、今回確認した令和5年度のお金の使われ方と、主な事業についてご紹介します。

会計別歳出決算額

一般会計	
	228億3101万4777円
特別会計	
国民健康保険	53億2322万8296円
公園墓地事業	710万3348円
介護保険	47億7689万7875円
後期高齢者医療	8億3160万4392円
那珂地方公平委員会	6万2986円
水道事業会計	
収益的支出	11億2923万8232円
資本的支出	7億7859万6496円
下水道事業会計	
収益的支出	16億2536万3521円
資本的支出	17億2079万7453円



一般会計歳入



一般会計歳出



静峰ふるさと公園のさらなる魅力向上を図るため、検討委員会を開催し、イベントの開催や施設整備を実施することで、公園の魅力発信と来園者の増加を目指す事業です。

静峰ふるさと公園
魅力向上事業
事業費
1111万4837円



シティプロモーション
推進事業
事業費
900万7146円

「那珂市シティプロモーション指針」及び「那珂市シティプロモーション行動計画」に基づき、効果的な情報発信を推進し、交流人口の増加等につなげるための事業です。



予防接種法上の特例臨時接種に位置づけられ、疾病の発症や重症化予防を目的として、全額無料で行った事業です。昨年は約2万6000件の接種がありました。

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業
事業費
1億1548万756円



学習指導員等配置事業
事業費
9301万980円

特別な支援を必要とする園児・児童・生徒への支援体制を整備する事業です。令和4年度に比べ、配置増となりました。今後も、その年の要望、必要に応じ指導員を配置し、教育の拡充を図っていきます。

●令和6年 第3回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 19日間 9月2日～9月20日

《傍聴者 145人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…15件

請願・陳情…2件

議員提出案件…0件

計17件

提出された議案等とその結果（賛否が分かれた案件はありませんでした。）

議案等番号	議案等名	内 容	結果
報告8	令和5年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化判断比率の状況について	実質公債費比率、将来負担比率など早期健全化の基準以下。	-
報告9	令和5年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率の状況について	水道事業会計、下水道事業会計とも資金不足なし。	-
報告10	令和5年度那珂市一般会計継続費精算報告書について	四中学区コミュニティセンター整備事業（施工監理・工事分）、高齢者保健福祉計画推進事業に係る継続費について精算したことによる報告。	-
議案48	那珂市国民健康保険条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴い、令和6年12月2日から被保険者証を廃止するもの。	可決
議案49	那珂市特別会計設置条例の一部を改正する条例	令和6年10月1日より、那珂地方公平委員会の事務局が那珂市から東海村に変更になることに伴い、那珂地方公平委員会特別会計を廃止するもの。	可決
議案50	令和6年度那珂市一般会計補正予算（第4号）	歳入歳出それぞれ1億9824万1000円を増額し、総額を241億3705万円とするもの。業務系システム管理事業における、住民基本台帳ネットワークシステムの更新に伴う委託料等の増額など。	可決
議案51	令和6年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ4153万2000円を増額し、総額を51億2166万2000円とするもの。前年度の精算による国県負担金等返納金及び一般会計繰出金の増額。	可決
議案52	令和6年度那珂地方公平委員会特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ12万6000円を増額し、総額を82万6000円とするもの。令和6年10月1日から那珂地方公平委員会事務局が東海村に移管となることに伴い、公平委員会設置に係る事務費等を精算し、一般会計への繰出金を計上するもの。	可決
議案53	那珂地方公平委員会規約の一部を変更することに関する関係地方公共団体の協議について	令和6年10月1日より、那珂地方公平委員会の事務局が那珂市から東海村に変更になることに伴い、規約を変更するもの。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案54	茨城租税債権管理機構規約の一部を変更することに関する関係地方公共団体の協議について	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、市町村が森林環境税を、賦課徴収することとなったため、規約を変更するもの。	可決
議案55	令和5年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について	前年度決算。4～5ページを参照。	認定
議案56	令和5年度那珂市水道事業会計決算の認定について		認定
議案57	令和5年度那珂市下水道事業会計決算の認定について		認定
議案58	那珂市名誉市民の選定について	白土松吉氏を那珂市名誉市民に選定するもの。	同意
議案59	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き藤田美和子氏、石川富子氏と、新たに綿引修氏、村上満江氏を推薦するもの。	同意
請願1	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	請願・陳情の内容は8ページを参照。	採択
請願2	中国のウイグル人迫害と日本でのウイグル強制労働の防止法の成立を求める請願		採択

全員協議会

◆報告事項

那珂市部活動地域移行 推進計画の策定について

中学校の部活動は、スポーツ、文化芸術に親しむ機会の確保や自主的、主体的な活動を通じた社会性の育成など、心身の健全育成のために大きな役割を担ってきました。しかし、少子化や教職員の働き方改革などにより、これまでのような形で活動を維持することが難しくなってきました。今年度は軟式野球部をモデルとし、休日の活動を移行します。モデル事業を通じて課題点などを検証し、他の種目につなげていければと考えています。

Q 参加しやすい金額での会費負担とありますが、これは市が設定するということですか。

A 活動団体ごとの設定にはなると思いますが、今回

の地域クラブは月3000円ということで設定しています。これが、持続可能な金額なのか、金額の高い低いも含めて検証し、他の団体の目安になればと考えています。

Q 地域移行後も地域クラブで指導に当たりたいと考えている教職員もいるようです。申請後、認められた場合、報酬を受けて従事することができるようです。その報酬の支払う先を伺います。

A 指導に当たった際の報酬的なものは、地域クラブからその先生に払われるというような体系になります。

Q 熱中症防止のための基準を超える場合、活動を原則行わないことが明記されています。健康管理は今後どのような形で考えていくのでしょうか。

A 地域クラブと、学校の部活動の両運営方針に即した形で、計画内の基準を遵守した上で活動していただくよう考えています。

◆議案第48号

那珂市国民健康保険条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、本条例の一部を改正するものです。

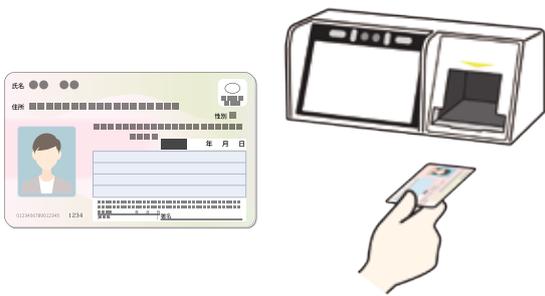
この法改正により、令和6年12月1日をもって、現行の紙の健康保険証の発行は終了となり、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行します。

今年12月2日以降、新たに国民健康保険に加入する場合や紛失等により保険証の再発行を希望する場合は、マイナンバーカードを保険証として利用する登録がお済みのかたには、負担割合などの資格情報を確認できる資格情報のお知らせ

を発行します。

また、マイナ保険証の利用登録が済んでいないかたや、マイナンバーカードをお持ちでないかたには、紙の保険証に代わる資格確認書を発行します。

本市では、令和7年7月31日まで有効な紙の保険証を7月に一斉送付して置きます。この保険証は、経過措置として、来年7月31日まで使用が可能です。



請 願 陳 情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 2件》

請願第1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

茨城県教職員組合

採択

学校現場において解決すべき課題が山積している中で、子どもたちの豊かな学びを実現するため、少人数学級の推進、教職員定数改善、教育の機会均等及び水準の維持向上をはかるための義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるものです。

本会議での採決の結果、全会一致で採択と決定し、国の関係機関に意見書を提出することとしました。

請願第2号

中国のウイグル人迫害と日本でのウイグル強制労働の防止法の成立を求める請願

茨城県水戸市酒門町 中朝人権問題を糾す会茨城 金澤 郁子

採択

新疆ウイグル自治区での人権侵害問題に対し、ウイグル強制労働に関わった原材料を使用しない、製品を製造しない、輸入しないための強制労働防止法を成立させることを求めるものです。

本会議での採決の結果、全会一致で採択と決定し、国の関係機関に意見書を提出することとしました。

※請願者の住所・氏名については、掲載の希望の有無を確認しています。

臨時会

◆会期 1日間 7月24日(水) 《傍聴者 0人》

今回提出された議案等は
市長提案案件…3件
計3件

◆報告第6号

専決処分について(損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定)

市の過失による事故等に対する損害賠償額を報告するものです。

(損害補償2万3715円)
採決の結果、全会一致で承認されました。

◆報告第7号

専決処分について(損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定)

市の過失による事故等に対する損害賠償額を報告するものです。

(物損16万1200円)
採決の結果、全会一致で承認されました。



◆議案第47号

令和6年度那珂市一般会計補正予算(第3号)

予算総額に、歳入歳出それぞれ2億7008万1000円を増額し、総額を239億3880万9000円とするものです。

主な内容は、低所得者支援及び定額減税補足給付金事業費の追加です。

採決の結果、全会一致で可決されました。

10月から那珂市議会は Facebook・Instagramをはじめました

開かれた議会のため、議会の様子をタイムリーに情報発信していきます。



Facebook



Instagram

一般質問

Q & A

《質問者 14名》

P 11 桑澤 直亨 議員

◇デジタル教育を含む生涯学習環境と個人情報について

P 11 寺門 勲 議員

◇安全・安心な学校生活を送るための環境づくりについて
◇窓口サービスの見直しについて
◇火災により被災されたかたへの支援について

P 12 原田 悠嗣 議員

◇瓜連庁舎及び分庁舎の今後の在り方検討について
◇有機農業について
◇道の駅について

P 12 寺門 厚 議員

◇マイナ保険証について
◇那珂市の防災体制について
◇那珂市の再生可能エネルギーの拡充について
◇森林環境譲与税活用事業について

P 13 榊原 一和 議員

◇那珂市シティプロモーションを考える
◇那珂市定住促進を考える

P 13 君嶋 寿男 議員

◇防犯対策について
◇通学路の安全対策や整備について
◇企業誘致状況と活性化

P 14 渡邊 勝巳 議員

◇県北高規格道路（茨城北部幹線道路）について
◇学校施設整備について

P 14 花島 進 議員

◇東海第2原発事故を想定する避難計画と拡散シミュレーションについて
◇水のPFAS検査について
◇市道の雨水排水対策について
◇市内の高規格道路計画について
◇鈴木家住宅について
◇情報システムの統合問題について

P 15 大和田 和男 議員

◇酷暑中の教育環境について
◇那珂市南東部のインフラ整備について
◇産前産後の支援について

P 15 遠藤 実 議員

◇少子化対策のさらなる充実について
◇防災体制のさらなる強化について

P 16 富山 豪 議員

◇フレイル予防について
◇特定外来生物について
◇植物園のリニューアルについて
◇瓜連支所について

P 16 小宅 清史 議員

◇交通弱者対策を考える
◇那珂総合公園について考える
◇那珂市誕生20年を考える

P 17 小池 正夫 議員

◇親が高齢化している障がい者へのサポートについて
◇市民への安全な水道行政について

P 17 笹島 猛 議員

◇那珂市の財政状況について
◇ふるさと納税について

桑澤 直亨 議員

誰もが便利に活用できる 電子図書館を設立しては

関係部署と協議し、進めていく

Q 現在の市立図書館の活用を推進していくためにも、電子図書館の導入を進めていく必要があるかと思えます。

A 児童・生徒においてもタブレットを活用したICT教育が積極的に行われている現状を踏まえ、学校図書館と電子図書館を融合し、日常のかつ効率的に様々な本や雑誌、新聞に触れることができる環境を提供することが重要です。距離や時間に関係なく、交通弱者や障がいを持つ方々にとっても大変有効かと思えます。学校タブレットでも活用することができる電子図書館の設立を考えてはいいかですか。

A 教育部長 児童・生徒が学校タブレットから電子



図書館にアクセスして授業等での活用を行っている自治体もあり、今後学校と連携しながら、同様のシステムを活用した電子図書館の導入について協議を進めていきます。

Q 歴史民俗資料館に収蔵されている様々な資料をデジタル化し、ネット上で公開するなど有効的な活用方法を考えては。

A 教育部長 子どもたちの学習だけでなく、多くの市民にとっても活用の幅が広がることから、市のホームページを通じて、資料・画像などを紹介するコーナーを整備していきます。

議員のひとこと

DXの力で教育現場と市民生活の未来を変えていく。

寺門 勲 議員

軟骨伝導イヤホンの 導入を提案します

導入に向け検討していきます

Q 耳が聞こえにくいかたには、どのように窓口で対応しているのか伺います。

A 総務部長 本市では、職員接遇マニュアルを定めており、窓口で耳の聞こえにくいかたに対応する際には、大きな声で話す、正面から口を大きく開けてはっきり話す、筆談で対応するなど、配慮した対応を心掛けています。また、社会福祉課の窓口には、携帯用助聴器、携帯用会話補助装置、電子メモパッドを配置しており、必要に応じて各課の窓口で使用しているところです。

Q 耳の不自由なかたや高齢者が訪ねる窓口には、バリアフリーの観点からも、イヤホン部分を耳たぶにかけただけで、大声で話す必要



がなく、手入れも簡単で清潔さを保ちやすい、軟骨伝導イヤホンを導入し、市民サービスの更なる向上につながるかと考えますが、いかがでしょうか。

A 総務部長 議員ご提案の軟骨伝導イヤホンについて、その効果等を調査し、導入に向け検討するとともに、他のツール等についても調査してまいります。



議員のひとこと

市民の皆様へ寄り添った施策を積極的に。

原田 悠嗣議員

瓜連庁舎及び分庁舎の 今後の在り方検討について

議論の内容を随時公表します



Q 瓜連庁舎の在り方について、細かなルールをつくらずに、安易に検討・協議をする組織をつくることは、さらなる市の信頼失墜につながるかねないと考えます。特に組織を構成する地域住民の選出に関しては、公平性、透明性をしっかりと確保したものでなく、瓜連庁舎の今後を検討・協議する組織をつくる際には、どのように地域住民を選出するのですか。

A 総務部長 瓜連地区まちづくり委員会とも意見交換を行い、決定していきたいと考えています。

Q 市政の大きな方向性を決める瓜連庁舎の今後の在り方について、検討・協議するということは、非常に

大きな権限ですので、相應の責任が伴ってきます。選出された方々には、自分の言葉に責任を持って発言してもらいが必要がありますので、議事録も公開されるべきだと考えます。検討・協議する組織がどのような権限と責任を持つか伺います。

A 総務部長 将来を見据えた客観的な議論により公正かつ適切な検討・協議を行い、議論の内容や決定事項を随時公表するなど、透明性の高い運営体制により、市に対して有益な提言をしていくことも大事な役割になると考えます。

議員のひとこと
組織の公平性・透明性の確保を。

寺門 厚議員

今年12月2日に現行の健康 保険証が廃止された後は マイナ保険証へ移行となる

移行となる



Q 現行の健康保険証の発行が、今年12月に廃止され、マイナ保険証へ移行しますが、市国保の保険証はどのようになりますか。

A 社会福祉課長 令和6年12月2日以降、現行の保険証の新規発行は終了し、マイナンバーカードに紐づけされたマイナ保険証が原則として利用されます。令和6年12月1日までに発行された現行の保険証は、令和7年7月31日まで使用可能です。12月2日以降に健康保険に新規加入する方や、現行保険証を紛失した方には、資格確認書又は資格情報のお知らせが交付されます。

Q 現行保険証の有効期限である令和7年7月31日以降の対応はどのように

ますか。

A 社会福祉課長 令和7年8月1日以降、マイナ保険証の利用未登録者やマイナンバーカード未作成者には、資格確認書が交付されます。マイナ保険証の利用登録済の被保険者には、資格情報のお知らせが交付され、カードを読取る機器の不具合の際等には、これをマイナンバーカードとともに医療機関で提示することで受診が可能となります。

Q 資格確認書はいつまで発行されますか。

A 社会福祉課長 国は、当分の間ということだけで明言はありません。

議員のひとこと
現行の健康保険証廃止を見直すよう国へ要望願したい。

柿原 一和議員

那珂市のシティブロモーションの目的とコンセプトは

移住・定住へ繋げるべく、魅力を発信



Q 人口減少による経済力の低下に悩んでいる自治体は年々増加しています。問題を解決するべく行われるようになったのがシティブロモーションです。地域への愛着や誇りの醸成は、地域の活性化に繋がります。本市シティブロモーションの目的を伺います。

A 企画部長 人口減少の抑制や地域の活性化に向けた施策として、本市への交流人口を拡大し、将来の移住・定住へと繋げていくための魅力を発信し、イメージの向上を目的とし実施しています。

Q 本市におけるシティブロモーションの指針並びにコンセプトを伺います。

A 企画部長 1、「那珂

市を愛し誇りをもってもらう」。市民が住みやすいまちであることを実感し、市に愛着と誇り（シビックプライド）を持つことで、定住人口の減少抑制に繋がります。2、「那珂市に興味をもってもらう」。市外の人に本市に関心をもってもらう、ファンを増やしていくことで、交流人口の増加に繋がります。3、「那珂市の魅力をアップする」。市を表現する明確なメッセージや魅力を本市ブランドとして打ち出し、市内外の人に発信していくことで同じ価値観を共有することによって繋がります。

議員のひとこと

未来へ向け、社会的包摂を目指し、努力をお約束します。

君嶋 寿男議員

通学路の安全対策と整備 防犯対策の市の取り組みは

関係機関と連携を取り進めていく



Q 通学路で、保護者の方々や生徒から危険な場所を指摘された場合の対応は、どのように行っていますか。また、昨年度、PTAや自治会に協力していた、通学路安全点検調査票の内容と経過を伺います。

A 教育部長 提出されたもののうち優先度の高い箇所については、学校や那珂警察署、常陸大宮土木事務所などの関係機関と合同で現地の点検調査を行い検討しています。内容としては、交通量が多くスピードを出す車両が多いために横断歩道を渡るのが危険である。側溝の蓋に凹凸があり危険である。草が生い茂って歩きにくい。カーブミラーが見えづらいという点でし

た。今後も関係機関と連携を取り安全確保に努めていきます。

Q 犯罪の抑止、防止効果の期待ができる防犯カメラの市内での設置状況、団体内、その周辺の設置計画はあるのか伺います。

A 市民生活部長 本市が管理している防犯カメラの設置数は、201基です。場所としては、市が所有する公共施設、駅周辺、市内幹線道路交差点付近です。団体内の設置計画はありませんが、効果が最大限活かせる場所になるよう那珂警察署と協議しながら適切な設置を進めていきます。

議員のひとこと

安心できる通学路、しっかりとした防犯対策を願う。

渡邊 勝巳議員

高規格道路が整備されると 那珂市へのメリットは

経済・物流の活性化が期待されます



Q 「茨城北部幹線道路」などの高規格道路が整備されると、那珂市にはどのようなメリットがありますか。

A 建設部長 茨城港常陸那珂港区、常磐自動車道、県北内陸部が一本で結ばれることから、人流や物流の活性化につながるとともに、災害時の救急支援等活動の円滑化が図られます。また、インターチェンジの新設により市内産業、観光、防災の機能が向上し、地域の活性化が図られると期待しています。

Q 常陸那珂港は、物流や観光に大きな可能性を持った港湾になるはずですが、この恩恵をいち早く受けるためにも、この高規格道路を利活用するまちづくり計画

を早々に策定し、道路計画を那珂市がリードしていくことが重要ではないですか。

A 市長 茨城港常陸那珂港区と常磐自動車道及び県北内陸部とを結ぶことから、人口減少等に悩む県北内陸部の活性化とともに、県域を超えた広域ネットワークによる経済・物流の持続的な活性化が大変期待されます。那珂市の発展につながる好機であることから、沿線の利活用のあり方など、県と連携を図り、時機を逸することなく対応していきます。

議員のひとこと

那珂市の未来のため計画の策定と早期整備を願います。

花島 進議員

東海第二原発事故の拡散 シミュレーションについて

国は想定事故を示していません



Q 茨城県が原子力広報いばらき7号で、日本原電に行わせた拡散シミュレーションの結果を示しました。

住民避難対応に必要な範囲が、30キロ圏内に収まる放出を計算したとする一方、安全対策機器が一斉に動かなかった場合のシミュレーションという記述があります。これは、明らかに矛盾しています。福島事故では安全装置が一部動作しましたが、結果的に3つの原子炉がメルトダウンしました。ですから最低でも福島事故と原子炉の出力比で同じ放射能放出を想定しなければならぬはずですが、ところが、原電にさせたシミュレーションでは、放射能の放出が福島事故の

150分の1程度にしか想定していません。どう考えますか。

A 市民生活部長 国の防災計画で、広域避難計画の策定が義務づけられている中、想定すべき事故、災害が具体的に示されていません。今回のシミュレーションは、茨城県が原電に要請し、原子力発電所から30キロメートルに避難や一時移転の対象となる区域が生じるよう、その範囲の想定すべき事態や評価方法を事業者と協議して、安全対策設備が一斉に機能喪失する仮想条件を、あえて設定したものとなります。

議員のひとこと

福島事故の教訓は、原子力関係者の能力が低いこと。

大和田 和男議員

酷暑対策となる教育環境の 早期整備を要望します

可能な限り早期完了を目指します



Q 今年の夏は命の危険を感じる暑さでした。このようなか、学校の特別教室の空調が未整備です。早期整備を要望します。

A 教育部長 整備に係る財源が普通教室を整備した際と異なることから、14校まとめて単年度で整備完了は難しいです。まずは中学校5校から整備していきま。また体育館への整備については未定です。

Q ヘルメット通学の安全対策は大切ですが、暑熱対策はどうなっていますか。

A 教育部長 保護者の判断で通気性の高い学童帽の着用を選択することを認めています。

Q 大雨、酷暑、遠距離通学の影響で学校周辺は送迎車で混雑しています。取り

壊すプール部分の活用で学校駐車場の整備を要望します。

A 教育部長 学校の要望を確認し、校庭の一部や駐車場として整備します。

Q 戸多地区ではスクールバスから利便性の高いスクールタクシー事業へと変わりました。例えば後台三区では片道3キロ以上ある家から、この酷暑の中、小学1年生が登下校している。このような地区にも右記の事業拡大を要望します。

A 教育部長 検証し、本米崎地区への導入は検討します。その他の地区への導入は考えていません。

議員のひとこと

教育はまちづくりの根幹。

自治体間格差はなくそう。

遠藤 実議員

義務教育完全無償化、保育料・学童保育料の無償化を

安心して子育てできる環境を整備



Q 少子化対策を進めるために、昨年一般質問で、給食費、各種教材費、部活動費や修学旅行費、ランドセルなどの諸経費を行政が負担する「義務教育の完全無償化」や、福祉分野での「保育料、学童保育料の無償化」を訴えました。これらの事業は約7億円という莫大な予算を必要としますが、これは那珂市の一般会計約241億円の約3%にしすぎません。市全体の予算の中からかき集め、子どもを増やす施策を事業の真ん中に据えてください。このインパクトにより那珂市で子育てしたいと移住して来る社会増も期待出来るかもしれませんが、それと同時に、那珂市の若者たちに、将来に希望や夢を持って

ただき、那珂市で結婚して子どもを産み育てたいという自然増を政策でつくっていききたい。そう訴えたところ、まちづくりの観点から多角的に論じるべきと答弁いただいたいましたが、その後どのように議論していただきましたか。

A 市長 議員の政策は大変インパクトがあり、注目を集めると感じます。義務教育や保育料・学童保育料の完全無償化までの戦略は現在ありませんが、市民が少しでも安心して子育てできる環境を財源等も考慮しながら整備していきたいと考えています。

議員のひとこと

子育て世代にもっと率直にダイレクトな経済支援を。

将来に希望や夢を持って

富山 豪議員

検討委員会ではどのような検討がなされるのか

利活用について幅広く検討します



Q 瓜連支所の今後の利活用について幅広い検討と協議を行う検討委員会の設置はいつ頃になりますか。

A 総務部長 現在、庁内でその活用について法的な課題などを整理し、市の財政状況や地域の特性も勘案しながら様々な角度から研究しているところですのでその設置について具体的な時期を示せる状況にはありませんが、庁内で整理検討が整いましたら地域住民を交えた検討委員会を設置していきます。

Q 検討委員会のメンバー構成はどのように考えていますか。

A 総務部長 地域住民、地元団体の代表、学識経験者などを想定しています。が、瓜連地区まちづくり委

員会とも意見交換を行い決定していきたいと考えています。また、瓜連地区の未来を見据え視野を広げて幅広く丁寧に、そして慎重に検討する必要がありますため、子育て世代など次世代の方々も含め、幅広い世代からバランスのとれた構成となるよう調整していきます。

Q どのような検討がされるのでしょうか。

A 総務部長 市で整理検討した内容やパブリックコメントでの意見なども考慮し、より具体的で有効な地域の活性化につながる利活用の方向性について幅広く検討協議をしていきます。

議員のひとこと

地域への丁寧な説明を一番に心がけていただきたい。

小宅 清史議員

那珂総合公園を夢の持てる施設に

修繕優先しつつ、参考にする



Q 那珂総合公園はインターチェンジに近い、広い敷地があるなどのアドバンテージがあり、アリーナは98%、多目的広場も約70%と高い利用率を維持しています。この施設を有効利用してもっと魅力のあるものにしていくべきではないでしょうか。そのために、グラウンドを人工芝にした

り、パリオリンピックでも話題になったスケートボードの練習ができる全天候型のスケートパーク、アリーナの壁を利用してのボルダリング施設など、そういったものを整備して総合的なスポーツが楽しめ、学べるような施設にしていってほしいと思いますが、いかがでしょうか。

A 市長 那珂総合公園は

築30年になります。施設の老朽化による修繕を実施しているのが現状です。今年度はオリンピックなどで新たなスポーツにも注目が集まっており、関心が高くなっていることは承知しています。現在那珂総合公園への新規施設等の計画はありませんが、施設が利用者に快適に利用していただけるように修繕を進めつつ、今回の議員のご意見も参考にさせていただきますと思います。

議員のひとこと

将来オリンピックが誕生するよう施設にしたい。

小池 正夫議員

親が高齢化している障がい者へのサポートについて

障害者総合支援法に基づき進める



Q 障がい者を抱える親が高齢化することで、さまざまな問題が出てくると思いますが、市としてどのような認識を持っていますか。

A 社会福祉課長 現在本市においては、障害者総合支援法に基づき、障がい者自らが望む地域生活を営むことができるよう、障がい者の生活を地域全体で支える支援体制の整備を進めています。しかし、親亡き後、親に代わる支援や住居の確保、財産管理など多岐にわたって解決すべき課題があるものと認識しています。

はありますか。

A 社会福祉課長 すでに障害福祉サービスを利用していている場合には、障がい者本人やその家族の相談を受けて、障害福祉サービスを活用できるよう連絡調整や助言を行い、相談支援専門員を通して、親なき後を見据えた体制を整えられるようにしています。障害福祉サービスを利用されていない場合には、地域生活支援拠点事業を案内していきます。希望のかたには訪問し、それぞれご家族で抱える課題等について把握し、緊急時の受け入れなどの相談を進めています。

議員のひとこと

これからも一層よい施策を願っています。

笹島 猛議員

自主財源確保に向け、ふるさと納税を増やす取組みを

知名度やイメージアップを図る



Q ふるさと納税制度を安定的に増加させていくことができれば市の体力強化となります。税収増が見込める可能性が高いこの制度の現状について伺います。

A 企画部長 寄付額の受け入れが減少している中、返礼品の見直し充実を図るとともに、中間事業者の見直しを行い、サイト上での集客やウェブ広告の運用から顧客満足度向上に努めていきます。

Q ふるさと納税制度は、地域住民向上のための貴重な財源として活用できるとともに地場産業の振興や物産品の魅力向上に寄与することから、自治体による利用勧奨が積極的に行われています。投資額が小さいふるさと納税で成功させ効果

を上げてから、投資額が大きな新規大型事業につなげていくのが順序だと思いが、ふるさと納税をうまく活用できない現状でどのような取組みが必要ですか。

A 市長 ふるさと納税等を通じて民間資金を呼び込むためには、地方創生の戦略でもあるシティプロモーションを推進し、魅力ある、住みやすい、にぎわいのある、活力のあるまちづくりを推進していくことで注目される那珂市にしていくことが必要です。

そのためにも知名度やイメージアップを図ることも重要であると考えています。

議員のひとこと

ふるさと納税寄付額の低下が続いている。問題では。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（6月～8月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

那珂市議会では、全国で議員や議会事務局への研修を行っている内田一夫氏を講師に迎え、「議員のコンプライアンスについて」ハラスメントの防止に向けて「というテーマで勉強会を開催しました。参加者は、議員としての心得やハラスメントについて学び、

常に新たな問題意識を持ち、議員同士話し合いをし、課題を共有することの重要性を再認識しました。ハラスメントを「防止する」から「踏み込んで」「禁止する」という強い意志を持ち続け、那珂市議会議員として今後も活動していきま



講師 内田 一夫氏
元全国都道府県議会連合会事務局次長

議員のコンプライアンスについての勉強会を開催しました

実施日 令和6年6月25日(火)

活動日誌

6月

- 21日 議会広報編集委員会
- 25日 議員勉強会
- 27日 議会広報編集委員会
- 28日 議員勉強会

7月

- 1日 福島第一原子力発電所視察
- 5日 議会広報編集委員会◎
- 9日 産業建設常任委員会議員と語ろう会
- 12日 教育厚生常任委員会視察・議員と語ろう会
- 24日 議会運営委員会、全員協議会、臨時会
- 29日 広島県府中市議会会派行政視察来訪

8月

- 7日 東京都瑞穂町議会行政視察来訪
 - 20日 議会運営委員会
 - 21日 産業建設常任委員会視察
 - 25日 原子力安全対策常任委員会議員と語ろう会
 - 26日 議会運営委員会、全員協議会、議会広報編集委員会
 - 30日 総務生活常任委員会議員と語ろう会
- ◎…オンライン形式で開催

福島第一原発ならびに廃炉資料館への 視察研修

実施日 令和6年7月1日(月)
視察先 福島第一原子力発電所

参加を希望した8名の議員で福島第一原発と廃炉資料館へ視察に行きました。

あの事故から13年。懸命な除染作業によって、一部の地域を除き居住が可能となり、帰還する住民も徐々に増えてきたとはいえ、まだまだ傷跡が癒えない景色を横目に、廃炉作業の進捗状況を確認しました。

水蒸気爆発を起こした原子炉建屋などの特定のエリア以外は防護服を着用することなく視察ができ、着実に廃炉に向けた工程が進んでいると実感しました。

また問題となったALPS処理水の海洋放出も、世界的な水質基準を大きく下回っており、丁寧に行われていることも確認しました。



福島第一原子力発電所の視察の様子

しかしながら溶け出ししてしまった燃料デブリの取り出しなど、今後の作業工程においては技術的な課題が残されており、完全に廃炉が完了するにはあと30年から40年かかるとのこと。

原子力の有益性と安全性の確保、将来の電力供給体制をどうしていくかなど、改めて考えさせられる充実した一日となりました。

産業建設常任委員会視察

大洗町道の駅整備計画一時凍結の経緯を調査

実施日 令和6年8月21日(水)
視察先 大洗町

産業建設常任委員会では、大洗町で一時凍結した道の駅整備計画について、町執行部と町議会議員のかたから説明を受けました。

道の駅整備は、町長の公約の一つであり、就任後、整備検討委員会が設置され、協議の結果、道の駅は必要という結論となりました。それを受け町では、パブリックコメントを実施

しましたが、建設費用やその後の財政負担、諸課題について深く議論を進めるべきとの意見が寄せられました。

また町議会からは、候補地が町有地、県有地、民間事業者所有の土地であるため、権利関係の整理や、費用面を含めた他の候補地との比較検討が不十分である



大洗町の視察の様子

との指摘がありました。さらに、財政状況を鑑み、多額の費用が予想されることから道の駅整備に関する見詰め直しの提言が出され、町長の判断で一時凍結となったとのこと。

当委員会では、今後も引き続き調査を行い、本市の道の駅整備について、慎重に議論をしていきます。

議員と語るろう会

今年の「議員と語るろう会」は、7月から8月にかけて、常任委員会ごとに市民団体等に出向き、意見交換を行いました。

産業建設 常任委員会

テーマ：物価高騰・人材不足

那珂市建設業協同組合
理事7名



7月9日、那珂市建設業協同組合のかたと、物価高騰、人材不足について意見交換をしました。建設産業を取り巻く環境は、資機材の価格高騰や品薄などによって深刻な影響が出てきており、行政として適切に対応してほしいとの意見がありました。また、有資格者の人材不足が深刻な問題であること、建設関係のICT等の技術機器は、初期費用が多額であるため、中小企業ではなかなか導入することが難しいとの現場の声を伺いました。

その他、下水道整備の今後の計画や、道の駅等について意見交換を行いました。

教育厚生 常任委員会

テーマ：学校給食

白鳥学園瓜連中学校
給食委員会9名



7月12日、瓜連中学校の給食委員会の皆さんと給食をテーマに意見交換をしました。学校給食に対しては、生徒の皆さんから大変好意的意見が多い印象でした。意見としては、パンの種類を増やしてほしい。牛乳の代わりにヨーグルトにしては。ごはんに対しておかずが少ない日があるなど、中学生ならではの発言が多くありました。また、今の中学生は、長い期間のコロナ禍で、黙食を強いられた世代です。現在は、グループによる対面に戻ったので、楽しく、おいしい給食の時間となっているとのことでした。

さらにテーマのほかに、子どもたちの遊び場がほしいとの意見がありました。

教育厚生常任委員会では、同日に、市学校給食センターへの視察も行い、衛生管理や安全対策、使用している食材や調理の様子について確認をしました。



原子力安全対策 常任委員会

テーマ：原子力

なか環境市民会議 9名
那珂市小中学校PTA役員 7名

8月25日、那珂市PTA役員の皆さん、なか環境市民会議の皆さんと原子力をテーマに意見交換をしました。限られた時間の中でしたが、充実した意見交換ができました。

意見交換の中では、どのように避難するのか。屋内退避施設はあるのか。避難の期間、避難先での生活はどうなるのか。など、万が一原発事故が発生した時の避難に関する質問が多くありました。

ほかに、原子力防災を理解できるくらいの基礎的な知識を身につけられる場や機会があると良い。興味・関心がない人にも自主的に防災意識を高める案内ができるという。といった、市民への啓発を求める意見もありました。

また、自然災害にも十分な対策をすべきなどといったご意見もありました。



総務生活 常任委員会

テーマ：持続可能なまちづくり

地区まちづくり委員会委員長 7名

8月30日、各地区まちづくり委員長の皆さんと持続可能なまちづくりをテーマに意見交換をしました。

自治会加入率の低下、役員の高齢化・成手不足、子ども会や老人会などの活動も減少し、地域コミュニティが希薄になっている。区域指定の解除や若い世代が安心して子どもを育てられる環境の整備やまちづくりは自分たちでしっかりとできる事を考えていくことが重要とのことでした。

また最近では、空き家も増加しており、中でも長期間放置されているものは危険性も高く、積極的に行政が対処すべきといった意見もありました。

その他としては、自治会の回覧板を通して依頼があった高規格道路の整備推進を求める署名活動について、丁寧な対応を求める意見や、「子どもを守る110番の家」をもっと明確にしてほしい。などの意見がありました。



まちかど ニュース

夏休み！理科実験教室

令和6年8月22日(木)
那珂市立図書館にて

次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3 本会議 (議案上程など)	4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問など)	7
8	9	10 総務生活 常任委員会	11 産業建設 常任委員会	12 教育厚生 常任委員会	13 原子力安全対策 常任委員会	14
15	16	17	18	19 議会運営委員会 全員協議会	20 本会議 (委員長報告、 議案等採決)	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和6年第4回定例会：12月3日～12月20日

令和6年第4回(12月)定例会の日程(案)はカレンダーのとおりです。
 会議は原則公開となっており、お住まいの地区と年代を所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。
 また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、11月22日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」で公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。



(「那珂市議会」ページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)
 ※令和6年第2回定例会の原田議員の一般質問映像は、YouTubeのコミュニティガイドラインへの違反により削除されたため、視聴できません。

編集後記

秋も深まり、地域のイベントや行事が盛んに行われる季節になってきましたね。那珂市議会では、10月からFacebookや、Instagramを開始し、より一層、開かれた議会への取り組みを行ってまいりますので、ご覧いただければ幸いです。情報発信を強化するだけでなく、多様化する市民の皆様の声を行政に届け、より良い市政運営をめざすよう、引き続き努力してまいります。(鈴木 明子)

議会広報編集委員会	
委員長	神原 一和
副委員長	寺門 勲
委員	桑澤 直亨
委員	原田 悠嗣
委員	鈴木 明子
委員	富山 豪